

衆議院議員

おくの総一郎

後援会報 2024年 9月号

衆議院議員 奥野総一郎 プロフィール

1989年03月 東京大学法学部卒業
2005年04月 総務省退職(調査官)
2021年10月 衆議院当選(5期連続)
2021年11月 沖縄北方特別委員会委員長

現 在 立憲民主党千葉県連代表
党役員室長
予算委員会理事
憲法審査会委員



佐倉事務所 / 〒285-0843 佐倉市中志津4-1-35 TEL 043-461-8609 FAX 043-461-2997
国会事務所 / 〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館1119号室 TEL 03-3508-7256 FAX 03-3508-3526

Website <http://www.s-okuno.jp/> E-mail info@s-okuno.jp



今こそ政権交代

「ブレずにまっすぐ」とは

皆さん、こんにちは。おくの総一郎です。私はこの「ブレずにまっすぐ」というキャッチフレーズを民主党が政権を失った12年前から使い続けています。もう一度「政権交代」を「ブレずにまっすぐ」目指すという意味です。この12年間、野党は離合集散を繰り返し、「政権交代」など当分あり得ないと誰もが思いました。それが自民党のおごりを産んだのではないのでしょうか。「政治とカネ」の問題はたなざらしにされています。与党と維新がようやくまとめた政治改革法案は、世論調査で7割の国民が評価していません。なぜ、自民党は国民の声を聞かず党内の声を優先させたのか? 「何をしても政権を失うことはない」と考えたからではないのでしょうか。

「政権の受け皿」となる野党を

「政権交代」の受け皿となる野党を作る必要があります。

バラバラの野党を一致できる政策でまとめ、改革を実行する。我が党には野田佳彦元総理をはじめ閣僚経験者がいます。新代表の下、立憲民主党を改革して政権を目指すべきです。

私が考える野党の共通政策です。

- 1 外交・安全保障は当面今のまま引継ぐ
- 2 所得を補償して農家を増やし食料の自給率を上げる
- 3 非正規と正規の賃金・処遇格差をなくし実質賃金を引き上げる
- 4 教育の無償化
- 5 政治改革の実現

日本の発展のため、政権交代が必要な時期に来ています。「ブレずにまっすぐ」がんばります!



国会報告

現在私は、予算委員会の理事、党憲法調査会事務局長、党役員室長として働いています。

1 予算委員会報告理事

理事として我が党の質問の方針を決めました。「ウラ金」問題が中心にならざるを得ませんでした。我が党質問の三分の一程度を農業・食料自給率問題に割り当てました。私自身の質問は以下の通りです。

(1)「子育て支援金」が実質増税ではないか、負担が増えないと誤魔化すのはよくない、と指摘した質疑がメディアに取り上げられています。このほか、北方領土の日だったので北方領土四島一括返還をロシアに毅然と迫るべし、と発言しました(2月7日)。



(2)裏金議員を対象に2月に行った自民党の聞き取り調査について、一問一答で岸田総理に迫りました。私は麻生派を含む全議員から聞き取りをすべきと迫りましたが、総理は「聞き取り調査で実態が十分把握できたものではない」と認めました(その後麻生派でも裏金の可能性が指摘されています)。岸田総理は逃げるばかりで、裏金づくりがいつ誰によって始められたのか、一度辞めることになったのを誰が復活させたのか、二階元幹事長の50億円はどう使われたのかなど、結局最後まで説明しませんでした(2月26日)。

(3)鈴木財務大臣不信任決議(3月1日)
予算審議の最終盤、鈴木財務大臣不信任決議案の主旨説明を行いました。



2 憲法審査会報告

「数年単位の時間をかけて憲法全般を見渡した議論が必要だ」と述べ、地方分権の制度設計や憲法裁判所の設立などの議論を求めました。(4月18日)



3 海外調査

メキシコの国会議員と超党派で移民問題、そしてパリテ(メキシコでは議会や内閣、最高裁のメンバーを男女同数とする義務がある)について意見交換をしました。



4 代表選挙

野田佳彦元総理の代表選挙出馬を要請し、受けいただきました。また、議論を活性化させるため若手・女性の候補者が必要と考え吉田はるみ候補の立候補を支援しました。



5 役員室長

役員室長としては、泉代表に現実的な外交・安全保障、経済政策をとるようアドバイスをし、党首討論では岸田総理が廃止を決めていた電気・ガス料金補助を泉代表から提言してもらい、「酷暑対策」として復活させました。私は、政権を担える政党であると皆様に評価頂けるよう、全力で働いています。

熊谷知事との対談

奥野:企業誘致について伺います。千葉9区(佐倉市・若葉区・四街道市・八街市)は千葉県の交通の要衝にあり、いろいろな可能性があるかと思えます。

熊谷知事:企業誘致に関しては、令和4年に企業立地件数が過去最高になり、令和5年度も高水準です。商工労働部の企業立地に関わる組織・モチベーションの強化、それから補助メニューを柔軟に変えてきました。私自身もトップセールスなどに取り組み結果が出ています。順調ではありますが、立地が進むことで産業用地が不足してきており、市町村と連携しながら県を挙げて産業用地整備に向けて取り組んでいるところです。

奥野:千葉9区も佐倉の工業団地や、ちばリサーチパークなど、これまでは空きが目立ったんですが、だんだん入る様になってきていますね。

熊谷知事:雇用を創出することで地元で働く場所も増えますし、地元で経済が回るようになります。道路整備などインフラも改善しながら、各市の取組を応援していきたいですね。

奥野:成田空港をもっと活用すべきだと思いますがいかがですか。

熊谷知事:そうですね。アジアを含めて、各国では空港を核とした国際的な産業拠点の形成が進んでいます。私が知事になってから、成田空港周辺の産業拠点形成を実現するべく国に働きかけ、国際物流拠点を整備する場合、農地を含む土地であっても弾力的に活用できるという、全国で初めての取り扱いを実現し、既に2件、国際的な物流拠点プロジェクトが動き出してきています。成田空港周辺が活性化することで、成田と東京の間の地域にも波及効果が出てきます。

奥野:佐倉や四街道は空港と一緒に発展していけると思います。私の方からも佐倉市や四街道市に企業を紹介したりしています。千葉県は農業県でもありますので農業政策について伺いたいと思います。私は農家が農業で食べていけるよう政策が必要であると思います、国の役目でもあるのですが。

熊谷知事:ウクライナ侵攻で小麦価格が上昇したり、今年コメの価格が高騰するように、国際情勢や天候等で食糧供給は不安定となります。できる限り国内での生産力を維持するために、農家の所得向上にもっと国は取り組んでほしいと要望しています。千葉県は農業生産額6位の農業県であり、県としても農家の所得向上に向けて様々な支援策を展開し

ています。また、千葉県には成田空港があります。空港近くには輸出に必要な手続きがワンストップで可能な新市場もあり、県産農林水産物の輸出にさらに取り組んでいるところです。

奥野:民主党の時に戸別所得補償がありましたが、最低限の所得を補償する仕組みを作らないと、担い手も出てこないのでは、政権公約にして行きたいと思っています。温暖化による豪雨。茂原は大変でしたが、千葉市の都川も溢れて国道126号が通行止めになりました。私から県にお願いして、堤防の改修の調査を進めて頂いたり、ネットで見られる水位監視カメラを若葉区の大草町に新しく設置頂いています。都川だけでなく鹿島川水系もそうですね。幸い稲刈りの後でしたが、それでも田んぼが水浸しになり、私もお手伝いさせていただきましたが流れてきた稲藁の撤去が大変でした。今後、県内至るところで同様の問題が発生するのではないのでしょうか。



熊谷知事:県では河川整備費を増額し、河川改修などに取り組んでいます。また、危機管理型水位計や河川監視カメラを各河川に設置し、モニタリング体制を強化しています。それ以外にも雨水を貯留する機能を流域全体がいかに高めていくか、が重要です。

奥野:やむなく田んぼダムという発想になりますが、きちんと補償する必要があります。

熊谷知事:田んぼダムには国の支援制度もありますし、県では今年度から必要な設備を農家に取り付ける際にかかる費用の一部を補助する事業を創設しました。総合的な流域治水を行うため、市町村と連携して農家の理解を得ながら田んぼが持つ機能も活かしていくことが重要です。

奥野:最後に国政の話です。民主党が政権を失って12年経ちましたが、政権交代がないことの弊害が大きいというのが、今回の政治とカネの問題で明らかになったと思います。政権を担える野党が必要。そういう思いで、きちんと政策を立ててしっかり頑張っていきたいと思っていますので、ご指導をよろしくお願いいたします。

熊谷知事:是非、現場の声をどんどん届けていただければと思いますので、宜しくお願いします。
知事に当選させて頂いて3年半、多くの県民の後押しを受けて、様々な施策に取り組んできました。
まだまだ道半ばの施策もありますので、県民のみなさんに実感をしていただけるように、残りの任期、全力で仕事を進めていきます。

奥野:ありがとうございました。



神谷千葉市長との対談

奥野:地元を歩くと、高齢化・人口減少がいよいよ生活に影響し始めたと感じています。ドライバー不足で路線バスが運休になったり、小学校が統合になったり、空き家が増えて木の枝が張り出して交通の妨げになったりしています。また温暖化の影響もあります。豪雨で河川が溢れて農業にも影響が出ています。できるだけそうした声を汲み上げて市にお伝えをし、コミュニティバスの設置、樹木の伐採、農業の災害復旧などをお願いし実行していただいています。ありがとうございます。

神谷市長:ご指摘のとおり、人口減少や温暖化により千葉市でもいくつかの課題があります。奥野さんからのお話も含め、しっかりと対応していかなければなりません。中でも地域の移動手段の確保は重要で、働き方改革の影響で減便となったバス路線の復元を補助金を創設してバス事業者に働きかけるほか、コミュニティバスの運行やグリスロの支援をしています。温暖化対策では市公共施設の電力使用に伴うCO2排出実質ゼロの取組や小中学校体育館へのエアコン設置を進めています。また、企業立地に力を入れ、人口増加や税収確保に取り組んでいます。メルセデスベンツ日本社の本社立地の実現は奥野さんのお力添えが大きかったです。

奥野:ありがとうございました。



鈴木四街道市長との対談

奥野:四街道市は、市長の手腕で子育て支援も進み、人口が増加しています。企業誘致の方はいかがでしょうか？四街道駅もあり高速もあり空港も近いので相当なキャパシティがあると思います。

鈴木市長:背伸びをせず「幸せはいつもすぐ近くにある。」と感じられる街づくりを意識しています。市役所が持つ力には限りがあるため、徹底的に多様な主体と手を組んでいます。新設の「みんなで課」を中心に、地元企業やNPO、スタートアップ、大学等との連携事業を進めていて、データを重視した健康づくりや民間ファンド活用事業などにワクワクしています。掛け算を大切にしている、今年初開催の「ユニバーサル工業フェスタ」では物井工業団地から「ものづくり×福祉×アート」を発信します。シティプロモーションも重視し、今では人気番組や人気歌手のMV、CM、映画などで本市が選ばれています。四街道の地域資源を徹底的に見つめ直し、磨き、四街道の価値を高めます。

奥野:ありがとうございました。

